

平成25年度全国公共牧場長等研修会開催要領

1. 目的

平成24年現在、全国の公共牧場は761牧場となっており、その牧草地面積は81千haで、全国の牧草地面積の約13%を占め、特に都府県においては、牧草地の約3割が公共牧場である。また、公共牧場を利用している農家の割合は、乳用牛飼養農家で約37%、肉用牛飼養農家で約7%であり、地域畜産にとって重要な役割を持っています。

しかし、平成元年には全国で1,100を超えていた公共牧場数は、毎年度15牧場程度が廃止又は活動を休止する状況が続いています。これには、東日本大震災の影響による休止牧場の増加もありますが、公共牧場管内の畜産農家の減少や市町村合併の結果によるものだけではなく、公共牧場が本来持っている、「農家の乳用育成牛を預かり、農家の期待通りの牛にして返す」、あるいは「肉用繁殖牛を放牧飼養し無事故で農家に返す」という本来の機能が十分に発揮されていないことによる預託頭数の減少による経営不振も一因であることは否めません。

この主な原因は、放牧地の利用、放牧牛の管理等の放牧技術の理解が不十分であることと考えられます。一方、公共牧場本来の生産機能の強化充実によって預託可能頭数を上回る預託希望がある牧場も多く見受けられます。

現在、配合飼料原料である穀物価格の上昇や将来的な入手の困難性が予測される中で、地域の飼料基盤としての公共牧場の重要性は一層高まり、残っている公共牧場が健全な経営のもとで利用農家の期待通りにその機能を発揮することが求められています。

このため、本研修会では、公共牧場機能の強化と経営改善を目的に、その基本となる①放牧技術の改善、②経営・管理技術の改善、③職員の意識改革の3点に焦点を当て、これらの問題解決に詳しい諸先生方による講演と参加各牧場の抱える諸問題解決のためのディスカッションを通じ、公共牧場の本来機能を発揮するための生産性向上技術及びコスト低減等の経営改善方策等を習得するため開催します。

2. 主催

一般社団法人 日本草地畜産種子協会

3. 開催日時等

平成26年1月30日（木）13時00分～17時00分

1月31日（金）9時00分～12時00分

4. 場所

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2丁目1番7号日本地所第7ビル4階

あすか会議室

電話：03-3233-1207

詳細：別添案内図参照

5. 参集範囲

全国の公共牧場管理運営者（管理運営者、管理運営の受託者の各々の長又は職員等）

6. 日 程 等

1月30日（1日目）

[受付] 12:30～13:00

(1)開 会 13:00

(2)挨拶 13:00～13:10

(3)研修事項

①公共牧場を活性化させるための放牧技術の基本 13:10～14:20

(一社)日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 落合 一彦

・ ・ 休 憩 ・ ・ 14:20～14:30

②公共牧場の運営改善技術 14:30～15:40

浦幌町模範牧場指定管理者 株式会社希興 代表取締役 三宅 英彰

・ ・ 休 憩 ・ ・ 15:40～15:50

③公共牧場を核とした地域活性化 15:50～17:00

(意識改革による牧場の経営改善)

(社)葛巻町畜産開発公社顧問 前葛巻町長 中村 哲雄

(4)その他(事務連絡) 17:00～

* 研修事項及び講師について変更する場合がございます。

1月31日（2日目）

(1)グループディスカッション及び総合討議 9:00～12:00

テーマ「公共牧場活性化のために取り組むべきこと」

(事前提出いただいた出席牧場の課題の解決等についてグループで討論・検討いたします。)

7. 研修会の参加料：無 料

8. 研修会参加予定人数：参加者は30～40名を予定しています。

9. 研修会参加申込みの方法

別紙「研修会参加申込書」により平成26年1月9日（木）までに、一般社団法人日本草地畜産種子協会草地畜産部 丸本まで、FAX、E-mailまたは郵送（必着）で申し込んで下さい。参加の可否については、折り返しご連絡を差し上げます。

なお、公共牧場管理運営者にあつては、貴牧場の現状と今後の改善方向及び参加者の所見等を、別紙を参考に千字程度に取りまとめた書面を必ず添付して下さい。（送付は、参加可否の連絡の受信後で構いません。）

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番地 アセンド神田紺屋町ビル4階

TEL: 03-3251-6501、 FAX: 03-3251-6507、 E-mail: marumoto@souti-fsa.or.jp

平成25年度全国公共牧場長等研修会資料

研修参加者名〇〇〇〇

1、概要

- (1) 牧場名
- (2) 設置者（所有者）
- (3) 管理者
- (4) 経営形態（例：乳用育成牛夏期受託育成及び乳用子牛周年受託育成）
- (5) 受託頭数と受託可能頭数（例：夏期受託〇頭（受託可能頭数〇頭）、冬期受託〇頭（受託可能頭数〇頭）
- (6) 経営面積（例：牧草放牧地〇ha、牧草採草地〇ha、牧草採草放牧兼用地〇ha、野草放牧地〇ha 森林〇ha、施設用地〇ha、計〇ha）
- (7) 従事役職員（例：役員〇人（うち常勤〇人）、職員：夏期〇人（うち常勤〇人、非常勤〇人）、冬期〇人（うち常勤〇人、非常勤〇人）
- (8) その他（地域の畜産概況、預託の受け入れ範囲、公共牧場として取り組んでいる事項等について記載）

2、現状の問題点と改善方向

(1) 現状の問題点

①

②

・

（現状の問題点を箇条書きで記述して下さい。）

(2) 改善方向

①

②

・

（問題点に対応した、現状の対応策を記述して下さい。）

平成25年度全国公共牧場長等研修会参加申込書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本草地畜産種子協会
草地畜産部 丸本 あて

所属機関名： _____

担当者氏名： _____

TEL： _____

FAX： _____

E-mail： _____

研修会参加者氏名等

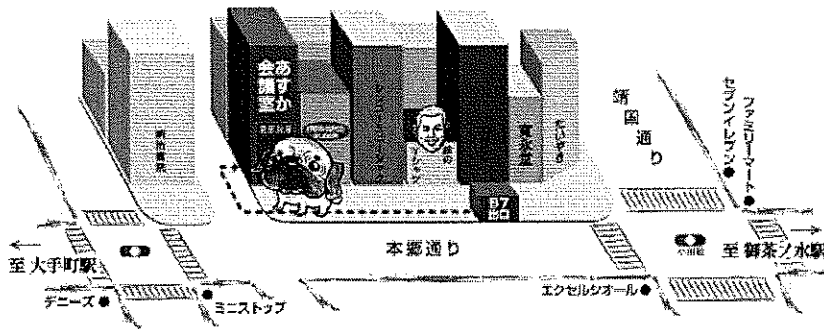
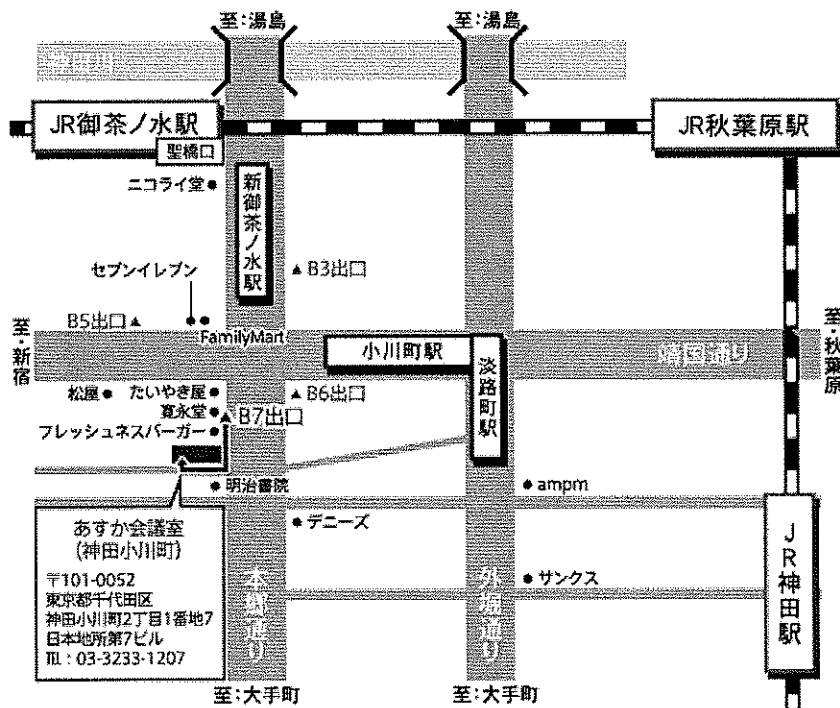
参加者の氏名	所属機関名	役職名	備考
(フリガナ)			

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8 アセンド神田紺屋町ビル

FAX 03-3251-6507 TEL 03-3251-6501

担当 丸本 充 e-mail:marumoto@souti-fsa.or.jp

あすか会議室 周辺地図



あすか会議室 - 神田小川町ビル(日本地所第7ビル)のサイドからお入りください。

地下鉄

千代田線：新御茶ノ水駅 B7 出口よりすぐ

丸の内線：淡路町駅 //

都営新宿線：小川町駅 //

J R : 御茶ノ水駅 より徒歩 8 分